

# 心ときめく ゆかいな絵がやってきた

— 現代フランス naïve 派絵画の魅力 —



## La Peinture Naïve Française Contemporaine



ジャン・マリー・ヴィダル《パリの猫》



ジェーン・ソーレル《ロバに乗る人》

2005  
3 | 19 土 ▶ 6 | 12 日

開館時間 = 9:00—17:00 (入館受付は16:30まで)  
休館日 = 月曜日 [3月21日 (月・祝) は開館、翌22日 (火) は休館]

主催 = 尾道市立美術館、中国新聞備後本社  
後援 = フランス大使館、広島県教育委員会、NHK広島放送局

観覧料 = 大人一般 700円 / 高大生 500円  
小中生 300円

(前売は、各200円引 / 20名以上の団体は、各100円引)

☆5月5日 (木・祝) は小中生が無料になります。


※前売券のお求めは、「中国新聞」販売所、JR西日本 (岡山・広島エリア) のおもな駅の「みどりの窓口」で。小学生未満は無料です。

70歳以上のかたと、お身体に障害をお持ちのかたと、またその介護が必要なかたの介護者1名様は、無料です。証明できるものを、美術館受付でご提示ください。



フィリップ・ルクール《村の2匹の鹿》



 **尾道市立美術館**

ONOMICHI CITY MUSEUM OF ART  
〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内  
Tel.0848-23-2281 Fax.0848-20-1682

### 「尾道市立美術館」前売入場券好評発売中!!

チケットのお求めは、JR西日本 (岡山・広島エリア) の主なみどりの窓口へどうぞ。  
大人:500円、高大生:300円





# 心ときめくゆかいな 絵がやってきた

## — 現代フランスナイーブ派絵画の魅力 —

になると自分の楽しみのために絵を描いていました。そこには、だれにでもわかる身近なモチーフやよく知られた画題のうちに、日々のいそがしさの中ですっかり忘れていた夢や希望、幼いころに不思議だったものごとの驚きやあこがれが、くっきりとあざやかに描き出されていました。報酬や名声を求めず、日々の生活の中で、自分の描きたいものを見失わず、一生懸命、心から楽しく描くこと。そんなあたりまえのことを、「うまく描く」「賞をとる」「えらい画家になる」といった、さびしいことにすり替えてしまわずに、続けていくのはたいへんなことだったのです。彼の作品は、仲間うちで評判になり、やがてピカソやアポリネールなどの、同時代の巨匠たちにも注目されるようになりました。幼い子どものような澄んだ眼で世界を見つめなおし、その不思議さを、その楽しさを、だれでも、いつでも、ふつうにできる、簡単な技法で描いてみよう、というのが、ルソーにならった、今日のナイーブ派の画家たちの考えかたです。

### 「ナイーブ派」って、なあに？

「ナイーブ派の絵」というのは、どんな作品なのでしょう？

パリの税関に勤めていたアンリ・ルソー(1844-1910)は、絵が好きで、休日



②



③



④



⑤



①

### 「ナイーブ派の絵」って、どんな絵？

「ナイーブ」とは「素朴な」こと。そして、ナイーブ派の絵画は、一見「下手な」ようにみえることもありますが、ピカソやミロもそうだったように、高度な技法を身につけていたとしても、それをいったん



⑥



⑦

白紙に戻して、もっと素直で純真な心になろうような、そして、そんな心をたしかに持っていたはずなのに、どこかへ置き忘れてきてしまった人びとの、胸に響くような表現を探しているのです。世界に向かって、初めて目を見ひらいたとき、お母さんの笑顔や、家族の笑い声、こぼれる日ざしや、風のおい、四季の樹木や草花や、鳥や魚や虫や動物たちの営みにふれたときの、驚きと喜びをいまいちど取り戻せるような、そんな作品との出会いを、尾道市立美術館は求め続けています。どうか、思い出してください。そして、心から楽しんでみてください。美術館から、春の公園へ歩み出すとき、あなたのくちびるに、ほほ笑みが残っていますように。

### ご利用案内

- JR西日本・山陽本線をご利用の場合：「尾道駅」から1番のりばの市バスで「長江口」下車、ロープウェイで「千光寺公園」へ。(市バスの「千光寺公園」直行便は、便数が少ないのでご注意ください)
- お車をご利用の場合：「千光寺ドライブウェイ」経由で「かおり橋駐車場」へ。(駐車券をご提示いただけましたら、当日券をお求めのかた1名様にかぎり、200円割引いたします)
- タクシーをご利用の場合：「尾道駅」または「新尾道駅」から1,200円程度です。

## 尾道市立美術館

〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内  
Tel.0848-23-2281 Fax.0848-20-1682



### ■次回展覧会予定

知られざるベルギー象徴派 魂をゆさぶる幻想と神秘  
2005年6月17日(金)～7月18日(月・祝)

### 近隣美術館情報

- ◆ 徳島県立近代美術館  
富山県水墨美術館名品展(仮称)  
4月29日(金)～6月5日(日)
- ◆ (財)大原美術館  
新収蔵作品展  
3月15日(火)～5月8日(日)  
ARKO(Artist in Residence,  
Kurashiki, Ohara)  
津上みゆき  
4月12日(火)～5月8日(日)  
有隣荘春の特別公開「会田誠・  
小沢剛・山口晃」  
4月29日(金・祝)～5月8日(日)
- ◆ ふくやま美術館  
茶の芸術 大名茶の名宝  
—細川家代々・永青文庫コレ  
クション—(予定)  
4月9日(土)～5月29日(日)
- ◆ 島根県立美術館  
開館6周年記念  
ギュスターヴ・モロー展  
—フランス国立ギュスターヴ・モロー  
美術館所蔵  
3月19日(土)～5月22日(日)
- ◆ (財)ひろしま美術館  
描かれた禁断の果実(りんごの秘密)  
—デュラールからセザンヌ、劉生へ—  
4月23日(土)～6月5日(日)
- ◆ 広島県立美術館  
華麗なる17世紀ヨーロッパ絵画展  
(予定)  
4月7日(木)～6月5日(日)